

令和3年12月23日

香川大学博物館
特別展「メタセコイア～生きている化石～」開催について

香川大学博物館では、メタセコイア命名80周年・三木茂博士生誕120年記念事業の一環として、特別展「メタセコイア～生きている化石～」を令和4年1月6日（木）～2月12日（土）の会期で開催します。三木町出身で、香川大学農学部的前身校である香川県立木田農林学校の卒業生でもある三木茂博士が、ヒノキ科に属するセコイアやタクソディウム（ヌマスギ）とされてきた化石が新属であることを発見し「メタ（後の）セコイア」と命名してから、今年で80年になります。「生きている化石」の代表でもあるメタセコイアの植物形態学的な特徴を解説するとともに、三木茂博士の生い立ちからメタセコイア化石の発見、絶滅したと思われていたメタセコイアが世界中に普及するまでの経緯を貴重な標本と資料で紹介します。

大阪市立自然史博物館所蔵の三木茂博士が採集・研究したメタセコイア化石やプレパラート標本（大阪市指定文化財）などのほか、国立科学博物館、雨滝自然科学館、香川県立五色台少年自然センター、三木茂博士資料館の標本資料を展示します。

**会期初日の令和4年1月6日（木）には、9時30分からオープニングセレモニーを開催します。
主催者挨拶、香川大学長による式辞に引き続き、テープカットを行います。**

テープカット予定者（敬称略）：工代 祐司（香川県教育委員会教育長）、森 正彦（三木町教育委員会教育長）、愛染 伊知朗（五色台少年自然センター所長）、高橋 由美子（「メタセコイア友の会・三木」代表）、笈 善行（香川大学長）、寺林 優（香川大学博物館長）。

オープニングセレモニー終了後には、香川大学博物館の篠原 渉副館長（香川大学教育学部准教授）による展示解説があります。なお、一般の方の入館は午前10時からになります。

※ 「メタセコイア命名80周年記念事業連携協議会」は、香川大学博物館、香川県教育委員会、三木町、メタセコイア友の会・三木から構成されています。香川の未来を担う子どもたちをはじめ、多くの県民の皆さんに三木茂博士の功績を知っていただき、後世に長く伝えることを目的としています。

香川大学博物館 特別展「メタセコイア～生きている化石～」

期 間 令和4年1月6日（木）～ 令和4年2月12日（土）

休館：日・月曜日、祝日、大学入学共通テスト実施日（1/15・16）

※ 2月11日（祝・金）は特別開館

時 間 午前10時～午後4時

会 場 香川大学博物館展示室（高松市幸町1-1）

オープニングセレモニー

日 時 令和4年1月6日（木）9時30分

会 場 香川大学博物館展示室前



➤ お問い合わせ先

香川大学博物館（高松市幸町1-1）

Tel: 087-832-1300（10:00～16:00）

E-mail: museum@kagawa-u.ac.jp

メタセコイア命名80周年 三木茂博士生誕120年

記念事業

日本中に植えられている
メタセコイアという木を
知っていますか？



東北大学
(宮城県仙台市)



太古の森 (香川県三木町)



マキノ高原 (滋賀県高島市)



佐賀県佐賀市



さぬき空港公園 (香川県高松市)



香川大学農学部 (香川県三木町)

記念講演会

自然の夢を追い続けた三木茂博士

～メタセコイア発見から80年～ 講師／塚腰実氏 (大阪市立自然史博物館 外来研究員)

入場
無料

令和3年9月26日(日) 14:00開演

会場：三木町防災センター3階 大ホール
香川県木田郡三木町大字氷上310番地

定員：先着90名

申込方法：三木町役場生涯学習課 (TEL: 087-891-3314) まで、電話でお名前と電話番号をお知らせください。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止になる場合があります。

同時開催

- 絵本『メタセコイアの精メタグランマ』朗読
- 『メタセコイアの詩』合唱発表
- 三木町防災センター1階にてパネル展開催



記念展示①

メタセコイア ～三木茂博士から学ぶ～

令和3年11月19日(金) ▶ 12月19日(日) 9:00～17:00

会場：香川県立五色台少年自然センター 自然科学展示室
香川県高松市生島町423 Tel 087-881-4428 ■期間中は休館日なし

入館
無料

記念展示②

特別展「メタセコイア ～生きている化石～」

令和4年1月6日(木) ▶ 2月12日(土) 10:00～16:00

会場：香川大学博物館 展示室

香川県高松市幸町1-1 Tel 087-832-1300 ■休館日／日・月曜日、祝日、大学入学共通テスト実施日 (1/15・16)

入館
無料

※ご来場の際は、各主催者が実施する感染症予防対策にご協力いただきますようお願いいたします。

主催 ▶ メタセコイア命名80周年記念事業連携協議会：香川大学博物館、香川県教育委員会、三木町、メタセコイア友の会・三木
協力 ▶ 大阪市立自然史博物館、国立科学博物館、さぬき市雨滝自然科学館 助成 ▶ 公益財団法人カメイ社会教育振興財団 (仙台市)

メタセコイアってどんな木？

高さ40m、樹齢500年にもなるヒノキのなかまの樹木です。紅葉、落葉するため季節によって異なった姿が見られる美しい木です。

三木博士が化石として発見し、命名したことで知られています。

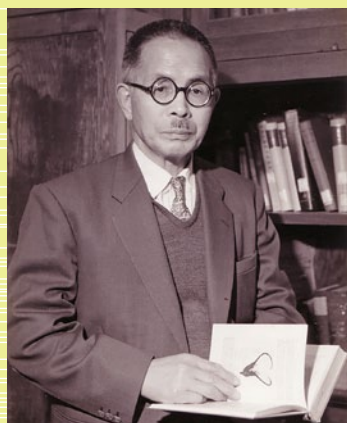
メタセコイアはかつて、世界各地に分布していました。しかし環境の変化から、数十万年前に姿を消してしまいました。その後、絶滅したとされていたメタセコイアが中国でわずかに生きていることが分かり、当時、世界的なニュースとなりました。

なぜ、未知の植物だと分かったのだろう？

メタセコイアの化石は、三木博士が命名する前から見つかっていました。しかし、その化石はヌマスギやセコイアに分類されていました。三木博士は、よく観察すると葉のつき方や球果（マツでいえばマツボックリ）がそれらとは違うものだ気がつきました。これは、中学や高校で習う基礎的な知識です。誰もが疑わなかったことに対して、疑問を持ったことから、未知の植物の発見につながったのです。

なぜ、日本中に植えられているの？

中国でわずかに生きていたメタセコイアを絶滅させないように保存活動が世界中に広がり、日本でも挿し木で苗木を育て、各地に植えられることとなりました。



三木茂博士（1901年～1974年）

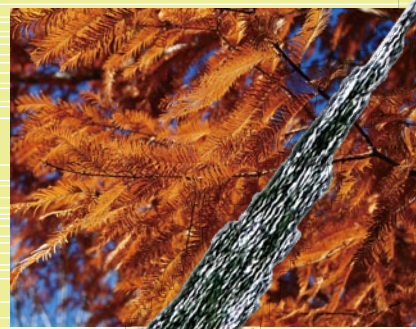
香川県木田郡三木町鹿庭に生まれる。化石で見つかる植物から、大昔の地球環境を調べる研究をしていた。メタセコイアをはじめ、多くの未知の植物の植物化石を発見した世界的に有名な博士。

この角度から撮影すると
立体に見えます



3Dトリックアート

スマホやデジカメで手前から撮影していただくと、木と博士のイラストが浮かび上がって写ります。



メタセコイアの球果



三木博士が研究した
メタセコイアの化石標本

所蔵：大阪市立自然史博物館

■三木町防災センター



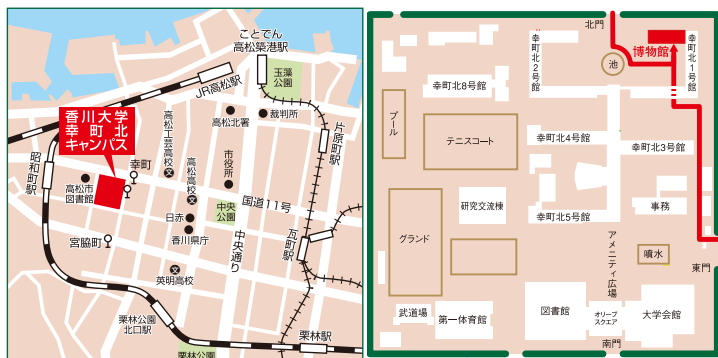
香川県木田郡三木町大字氷上310番地
Tel 087-891-3317

■香川県立五色台少年自然センター



香川県高松市生島町423
Tel 087-881-4428

■香川大学博物館（香川大学幸町北キャンパス内）



香川県高松市幸町1-1 Tel 087-832-1300

※駐車場がありませんので、公共交通機関もしくは、周辺のコインパーキングをご利用ください。